

真理子先生の

女性のさかた

検診結果が届いたら・・・

そこで今回は子宮頸が

5段階で通知

子宮頸がん無料クーポン券が突然届いて驚いた方も多かったようです。「まさか私に子宮がんは関係ない」と考えていた20歳代の方が「私も受診しなくては」と考えるきっかけになれば嬉しいばかりです。クーポンの期限は来年2月末ですので御活用下さい。

伊藤 真理子

●(いとう・まりこ) 1986年(昭和61年)山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産婦人科学会認定産婦人科専門医。

ん検査の結果に関するお話です。郵便で送られて来た書類に「異常なし」とあればもちろん安心ですが、「半年後に再検査を受けて下さい」といったいつもと違った結果ですと途端に皆様不安になられる様です。子宮頸がん検査は前回に紹介したように「子宮腔部ビラ

照」。

階に分かれます(表参照)。

クラスⅠはまず安心

クラスⅠは全く異常無し、御安心下さい。クラスⅡは細胞にちよつとした変化が見られた場合ですが、基本的に良性で

す。出血やおりものがないければさほど心配する必要はありません。

Ⅲ以上は精密検査を

(表) 子宮頸がん検査の結果と判断

	細胞検査の結果	およその判断	今後は?
1	クラスⅠ	正常	次回の定期検診をオススメ
2	クラスⅡ	良性の変化	6か月後に再検査をオススメ
3	クラスⅢa	異型上皮(軽度・中程度)の疑い	一度は精密検査をオススメ
	クラスⅢb	異型上皮(重症)の疑い	早めに精密検査をオススメ
4	クラスⅣ	子宮頸がん初期の疑い	すぐ精密検査をオススメ
5	クラスⅤ	子宮頸がんの疑い	すぐ精密検査をオススメ

微妙なのはクラスⅢです。がん細胞こそ見られませんが、正常とは異なる変化の「異型上皮」と呼ばれる状態です。変化が軽いか中位のⅢaと変化が深刻なⅢbとに分かれます。精密検査で軽度と診断されれば3カ月ごとの定期検査になります。

クラスⅣはがん細胞が認められた状態。クラスⅤはがん細胞が認められ、多少進行している可能性も心配されます。この2つの場合は確実に治療が必要です。精密検査で最適な治療方法を選んでもうまいましよう。

9月は「がん征圧月間」。今いちど御自分の体に向けて下さればと願っています。